

## 国際化学肥料ニュース（2012年12月）

### 肥料業界の2012年12月動態

\* 12月18日、中国政府財政部（財務省）が2013年一部輸出商品の輸出関税改訂を公表した。化学肥料については、りん安（DAP, MAP）は非需要期が5月16日～10月15日に設定され、昨年より1ヶ月延長され、その間に輸出関税が5%に下げられる。尿素は非需要期が7月1日～10月31日のままであるが、その間に輸出関税が2%に下げられる。また、りん安や尿素的輸出関税を徴収する際に使う参考基準価格も高めに設定される。2013年1月1日から施行する。

\* ロシア Uralkali 社 CEO はインド記者のインタビューに答えて、インドとの間に2013年上半期加里輸入契約は年内又は1月に締結するだろうと楽観的な見方をした。最新情報によれば、インドの加里輸入契約予想価格はCIF440～450ドル/トン、有効期間180日。一方、中国との加里輸入契約の締結は2013年3月に延ばすことになるだろう。中国に圧力を与えるため、Uralkali とベラルーシ BPC 社は2013年1月からシベリア鉄道経由で中国との国境貿易による加里輸出を停止する決定を下した。

\* 2012年世界の塩化加里需要量が4800～4900万トンで、低迷している。カナダ Potash Corp とロシア Uralkali は2012年9月～2013年2月の半年に400万トン塩化加里の減産を行う。また、12月中旬、Potash Corp とチリ SQM 社は加里肥料の値下げを発表した。Potash Corp はアメリカに販売する塩化加里は倉庫渡し価格を533ドル/トンから516ドルに下げ、SQM 社はアメリカとEUに販売する硝酸加里を今年第4四半期のCIR1150ドル/トンとCPT850ユーロ/トンから1080ドル/トン、800～820ドル/トンに下げ、2013年1月1日から適用。

\* アメリカ肥料研究所（TFI）のデータによれば、アメリカ10月のDAP輸出量が昨年同期より18.9%減の27.7万トン、主な輸出先はインド（16.8万トン）とブラジル（5.69万トン）。また、11月DAP輸出量も75%減の12.85万トン、主な輸出先はカナダ（4.82万トン）、ブラジル（2.91万トン）、ペルー（2.73万トン）。今年11月までのDAP輸出量が288.5万トン、昨年同期より14%減。特にインドへの輸出量がサウジアラビア産DAPとの競争で、49%減の98万トン。一方、ブラジルへの輸出量が65%増の42.5万トン、日本への輸出量が7%増の18.2万トン。一方、11月分のMAP輸出量が20%減の8.98万ト

ン。今年 11 月までの MAP 輸出量が 143 万トン、昨年同期より 20%減。カナダへの輸出量が 30%減の 37.1 万トン、オーストラリアへの輸出量が 35%増の 31.9 万トン、ブラジルへの輸出量が 51%減の 24.3 万トン、アルゼンチンへの輸出量が 5%減の 18.2 万トン、日本への輸出量が 7%減の 9.5 万トン。

\* アメリカ Mosaic 社 CEO は声明を発表し、加里肥料とりん安市場の低迷を受け、該社は市場が合理的な価格に回帰するために 2013 年第 2 四半期に減産措置を取る予定である。また、該社の CFO は 2013 年の塩化加里需要量が 5300~6000 万トンに回復する見通しであるが、2022 年までに塩化加里の新規生産能力が 3000 万トン増加し、需要の増加量 2200~2300 万トンより多いため、将来も供給過剰の状態が続くだろうと悲観的な見方をした。

\* FMB の報道によれば、インド今年 11 月に DAP 販売量 70.3 万トン、化成肥料 55.5 万トン。2012~2013 年の肥料年度、インドのりん安生産量 340 万トン、販売量 900~950 万トン、不足分を補うために、輸入量は 600 万トンと予想している。

\* インド MMTTC 社は 11 月 22 日に終了した尿素の入札に入札価格が 394.5~396.5 ドル/トンに設定したため、5~6 万トンの応札しかなかった。12 月 17 日に 1.8 万トンの追加入札を行い、応札したのは Agri Commodities 一社だけで、応札価格 CFR410 ドル/トンであった。また、インド IPL の尿素入札も 12 月 8 日に終了し、18 社計 130~140 万トンで応札した。最低入札価格 CFR404.45 ドル/トンであった。これはインド 2012~2013 年度最後の尿素入札であった。インド今年度の尿素輸入量は 630 万トンである。

\* エジプトは 12 月に天然ガス供給不足の理由で、尿素の生産が大きく影響され、12 月尿素輸出量が 8.5~9 万トンに減少すると予測する。また、エジプト政府は 2013 年に尿素に輸出関税 (100 ドル/トン) を検討していることが明らかになり、メーカーから強い反発を受けた。

\* ベトナム紙「エコノミータイムズ」12 月 18 日の記事によれば、2013 年ベトナム化学肥料需要量 1033 万トン、輸入量 247 万トンと予測。輸入量の内訳は、硫安 85 万トン、DAP57 万トン、加里肥料 95 万トン、NKP 化成肥料 10 万トン。

\* 2012 年、国際市場での尿素貿易が活発している。インドの尿素輸入量が 630 万トンになることを皮切りに、トルコも 120 万トン超と計画している。また、アメリカ 10 月の尿素輸入量が 66.3 万トン、7~10 月の輸入量が 264.2 万トンに達した。カナダも今年 1~10 月

尿素輸入量が48%増の70.3万トン。活発な尿素貿易を受け、現在400ドル/トン近辺で安定している。

## 大手各社の営業業績

### 肥料資源の探索と肥料プラント新規建設

\* 12月11日、カタール国営化学肥料社(Qafco)はMesaieed工業団地にある第6尿素工場の竣工式を行った。当該工場がイタリアSAIPEM社と韓国現代建設が共同で受注建設し、総投資額22億カタールリアル。当該工場の完成後、カタールの尿素生産能力が560万トン/年に達し、世界4位となり、全量輸出用で、国際市場に占める輸出シェアは15%となる。また、カタールQafcoは世界最大の尿素倉庫を有し、尿素の保管可能量が17.5万トンである。

\* エジプトOCI社はアメリカアイオワ州Lee郡に新設する窒素肥料工場の起工式が行われた。当該肥料工場はアメリカ25年ぶりに天然ガスを原料とする窒素肥料工場で、14億ドルを投資する予定である。

\* カナダWestern Potash社はAmec Americas社からSaskatchewan州Milestoneにある加里鉱山の事業化研究報告を受け取った。当該鉱山は加里鉱石埋蔵量が1億トン以上、280万トン/年の採掘量では40年以上採掘可能と見ている。当該鉱山は2016年から採掘開始と計画している。

\* ナイジェリア石油資源省は2013年第2四半期に当該国の南部デルタ地域に天然ガスを原料とする化学工業団地を建設する計画を発表した。当該工業団地にインドNagarjuna社がナイジェリア国営石油(NNPC)と合弁で2014年にアンモニア73万トン/年、尿素125万トン/年の窒素肥料工場を建設する一方、地元資本のElephantグループが2億ドルを投資し50万トン/年の窒素肥料工場、Dangoteグループが20億ドル投資し2015年と2016年にアンモニアと尿素工場を2ヶ所建設する予定。

\* アメリカOhio Valley社は、インディアナ州Rockport市北部に10億ドルを投資して、窒素肥料工場を建設すると発表した。当該工場の設計生産能力はアンモニア2180トン/日と尿素硝安液体肥料2730トン/日、主にアメリカ東部トウモロコシ栽培地域に供給し、2016年竣工予定。

\* サウジアラビアMaaden社とアメリカBechtel社、Fluor社との間にサウジアラビアにりん酸化学品工業団地を建設する。当該工業団地はサウジアラビア北部のTurayf市に位

置し、総面積 170 平方マイル、7 軒工場を有し、2013 年から建設し、総投資額 60 億ドル。完成後、年間 10 万トン食品級りん酸、9 万トンりん酸ナトリウム、25 万トン飼料用りん酸カルシウム、28 万トンりん安肥料を生産する。

\* インド肥料農協 (IFFCO) とカナダ農業者連盟 (CFA) と共同でカナダに建設する予定の尿素工場が着工した。当該尿素工場が 130 万トン/年の生産能力を持ち、2017 年完成予定、総投資額 12 億ドル。インド肥料農協はインド国内以外に、カナダ、オマーン、ヨルダン、セネガルにも地元の企業との合弁肥料工場を有する。

\* ノルウェー Yara 社とリビア政府の合弁肥料会社 Lifeco はリビアに建設中の窒素肥料工場に 2 本のアンモニア生産ラインが完成し、稼動始めた。生産能力 1000 トン/日の尿素生産ラインも 2013 年初めに竣工する予定。当該肥料会社は 2009 年 2 月設立され、Yara50%、リビア国営石油 25%、リビア政府投資庁 25%それぞれ出資する。工場完成後、毎年 90 万トン尿素と 15 万トン外販用アンモニアを生産する。

\* カンボジア政府とベトナム FiveStars グループが共同投資で建設するカンボジア FiveStar 肥料工場が 12 月 25 日に竣工式を行った。当該工場は年間 35 万トン化成肥料を生産し、カンボジアに供給する。投資額 8000 万ドル。

\* アメリカ KBR 社はナイジェリア Indorama 社との間に、ナイジェリア Harcourt Port に建設予定のアンモニア工場に関するコンサルタント契約をした。2011 年 5 月 Indorama 社は Harcourt Port に 18 億ドルを投資し、年間 100 万トンアンモニアとメタノールを生産する工場の建設を発表した。

\* カナダ Stonegate Agricom 社は、アメリカアイオワ州のりん鉱山に 1670 万トンの埋蔵量を有することを発表した。当該りん鉱山は 2014 年第 4 四半期に竣工し、年間 90 万トンリン鉱石を採掘する予定である。

\* カナダ Cominco 社はアフリカコンゴに探鉱中の Hinda りん鉱山の埋蔵量が 470 万トン、P2O5 平均含有量 11.4%であると発表した。

## その他

\* 2012 年中国の化学肥料輸出は国際経済環境の悪化にも関わらず好調である。尿素については、1~10 月の輸出量が 384 万トン、昨年の年間輸出量 356 万トンを超え、年内に 500 万トンの大台に載せることができると予測している。また、1~10 月、DAP の輸出量が 316.7 万トン、MAP 輸出量が 46 万トン、すべて予測より大きく超えた。一方、輸出関税のかか

らない硫安と硝安については、1～10月硫安が176万トン、硝安が40万トン、両者とも史上最高の輸出量となった。

\* 2012年、韓国SFC尿素工場が閉鎖されたことを受け、尿素輸入量が急増した。10月末現在韓国の尿素輸入量が29%増の65.1万トンとなった。